

今年度は秋の気温が平年より高く推移したため、果実の成熟が平年及び前年より遅れました。
また、平年と比べ降水量が多かったため糖度及び酸度は低い傾向でした。

平成 31 年～令和元年のまとめ

平成 31 年～令和元年の気象

平成 31 年 1 月～令和元年 12 月の月別気象を表 1 に示した。月平均気温は、平成 31 年 4 月及び令和元年 7 月を除く 10 か月で平年を上回った。1 年間の平均気温は 16.3℃で平年より 0.7℃高く、前年より 0.2℃低かった。降水量は平成 31 年 1～3 月、令和元年 5 月及び 8 月の 5 か月では平年を下回ったものの、台風 15 号が令和元年 9 月 9 日に千葉市に、台風 19 号が 10 月 12 日に伊豆半島に上陸した。さらに、千葉豪雨が 10 月 25 日にあったため、9 月の降水量は平年の 128%、10 月の降水量は平年の 265%及び 11 月の降水量は平年の 170%であった。1 年間の合計は 2,591mm で平年の 127%、前年の 135%であった。日照時間は平成 31 年 2 月、令和元年 7 月、10 月及び 12 月を除く 8 か月で平年を上回った。1 年間の合計は 2,013 時間で平年の 104%、前年の 93%であった。

表 1 平成 31 年～令和元年の気象（暖地園芸研究所）

年 月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)			
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	
H31	1	6.6	6.0	5.8	24	90	111	206	170	193
	2	7.8	6.3	6.0	89	97	21	102	152	161
	3	10.7	9.2	11.8	112	186	204	180	157	200
	4	13.1	13.9	16.2	214	174	69	199	172	205
R1	5	18.4	17.7	18.7	158	174	229	235	177	203
	6	20.9	20.7	21.4	299	244	282	157	133	174
	7	23.5	24.4	26.5	291	194	155	105	169	256
	8	27.1	26.0	26.8	72	144	25	229	217	255
	9	24.4	22.7	22.7	321	250	416	191	145	115
	10	19.7	17.9	18.9	662	250	123	119	137	151
	11	13.7	13.2	14.0	252	148	162	161	145	135
	12	9.8	8.6	9.3	97	85	120	129	165	121
平均/合計	16.3	15.6	16.5	2,591	2,036	1,917	2,013	1,939	2,169	

平成 31 年～令和元年の樹及び果実の生育

令和元年産は表年に当たるため、いずれの品種においても着花量が多くみられた。暖地園芸研究所における発芽期は、「日南 1 号」が 3 月 25 日、「興津早生」が 3 月 22 日、普通温州が 4 月 4 日であり、いずれの品種も平年より 10～18 日、前年より 3～8 日早かった（表 2）。

開花盛期は、「日南 1 号」及び「興津早生」が 5 月 13 日、普通温州は 5 月 20 日であり、いずれの品種も平年より 1～4 日、前年より 12～14 日遅かった（表 2）。

3 調査地（表 3－注 2）の収穫期の横径、縦径、一果重の平均値は 4 品種共に平年と同等かやや小さかった。着色は、4 品種共に平年より遅れが目立った。糖度は 4 品種共に平年及び前年より低い傾向であった。酸度は「日南 1 号」が平年及び前年より

高く、「興津早生」は平年より低く前年より高かったが、「大津4号」及び「青島温州」は平年より低く、前年より高かった。甘味比は「日南1号」、「大津4号」及び「青島温州」は平年及び前年より低かったが、「興津早生」では平年より高く前年より低かった。

果肉歩合は4品種共に平年及び前年と同程度であった

表2 平成31年～令和元年の発芽期及び開花期（暖地園芸研究所）

品種	発芽期（月.日）			開花期（月.日）								
	本年	平年	前年	始期			盛期			終期		
				本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	3.25	4.7	3.29	5.6	5.3	4.25	5.13	5.9	5.1	5.20	5.14	5.8
興津早生	3.22	4.9	3.30	5.6	5.7	4.24	5.13	5.12	4.29	5.20	5.17	5.7
普通温州	4.4	4.14	4.7	5.13	5.12	5.2	5.20	5.17	5.6	5.23	5.22	5.12

注1) 平年：平成6年から30年の25年間の平均値（「日南1号」は平成27年～30年の平均値）

2) 普通温州：「大津4号」及び「青島温州」

表3 令和元年の果実品質

品 種	横 径(cm)			縦 径(cm)			一果重(g)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	6.6	6.8	6.8	5.1	5.1	5.0	122.7	126.3	122.4
興津早生	6.0	6.5	6.7	4.7	5.0	5.2	92.7	116.0	140.3
大津4号	7.7	7.5	7.9	4.7	5.0	5.1	119.8	148.1	167.3
青島温州	6.9	7.4	7.7	4.7	5.0	5.0	119.4	141.4	151.7

品 種	着色程度 (0～10)			糖 度 (%)			酸 度 (%)			甘味比			果肉歩合 (%)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	2.0	4.8	3.2	7.7	8.6	8.4	1.20	1.01	0.83	6.4	8.9	10.0	82.8	83.2	85.8
興津早生	4.3	7.1	7.7	8.2	9.4	9.9	0.78	1.05	0.82	11.0	9.4	12.1	82.5	81.8	82.9
大津4号	6.9	8.2	9.7	9.2	10.1	10.3	0.82	0.89	0.74	11.4	11.6	14.1	76.5	75.4	76.5
青島温州	6.1	7.7	9.1	8.6	9.5	9.5	0.83	0.91	0.73	10.4	10.6	12.9	74.9	74.7	74.9

注1) 平年値は平成10～29年の平均値（「日南1号」は平成27～30年の平均値）

2) 南房総市、三芳地区、千倉地区及び暖地園研の3園地の平均値（「日南1号」は暖地園芸における調査のみ）

3) 甘味比＝糖度／酸度

4) 果肉歩合＝果肉重／1果重×100

5) 収穫日は「日南1号」：9月30日「興津早生」：10月31日、
「大津4号」及び「青島温州」：12月3日

病害虫、生理障害の発生

平成31年～令和元年の果樹カメムシ類の発生は、前年に見られたような7月の誘殺数の減少はなく、4月から7月にかけて誘殺数は増加し9月頃まで多く誘殺されたため中発生であった。暖地園芸研究所内では、温州ミカンでの加害は散見される程度であった。来年の発生予測は中発生の見込みであるため、園への飛来に警戒する。

黒点病及び果実腐敗は散見される程度であった。ミカンハダニ及びサビダニの発生は少ない傾向であった。

本年度は台風害により落葉、落果、果実の擦れ、枝の折れ傷、枝裂け及び樹の倒伏など大きな被害を受けた。

浮皮果の発生は「大津4号」及び「青島温州」共に平成30年より多い傾向であった。

1月以降の栽培管理

防寒被覆

寒さに弱いとされる幼木や、台風害に遭遇し、落葉や新梢の発生があった樹は、樹冠上方を被覆資材で覆い、風あたりの強い場所では樹の主風向を覆う。

土づくり・施肥

高品質のミカンを生産するため、土壌診断などで定期的に土壌の物理性及び化学性を把握し、2～3月に堆肥等有機物及び3月上旬に春肥の施用を行う。

間伐・せん定

せん定の前に、密植園では間伐を実施する。間伐することで、作業性の向上、高品質果実生産につながる樹形への整枝ができるようになる。

着花が多いと予想される樹では、切り戻しせん定を取り入れ、新梢の発生を促す。ただし、樹勢が強い品種・系統では、切り戻しせん定を行うと強い枝が発生する恐れがあるため、間引きせん定中心にする。

病害虫の防除

せん定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去し、園外で処分し、園内の菌密度を下げる。そうか病は発芽した芽が1cm程度に伸びた時期（4月中旬）及び落花直後（5月下旬）に薬剤防除を行う。かいよう病の防除は発芽前と5月中旬に行う。銅水和剤の散布は、農薬のラベルをよく読み、他の農薬との散布時期の調整を行う。

カイガラムシ類、ダニ類の防除のため、発芽前までにマシン油乳剤の散布を行う。ただし、樹勢の弱い樹への散布は避ける。また、厳冬期は落葉する危険があるため散布を避ける。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも

御覧いただけます。<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>